

# 健 康 情 報

## 身近な製品にも注意！化学物質の正しい扱い方

### 化学物質は工場だけの話ではありません！

洗剤・漂白剤・殺虫剤・接着剤・塗料など、身近な製品の多くは化学物質を含んでいます。2026年4月には規制対象物質が約2,900物質に拡大され、業種や規模を問わず、それぞれの職場のリスクに応じた「自律的な管理」が求められるようになります。右のグラフのとおり、**労働災害は化学工場よりも、食料品製造業や小売・飲食店など日常的な現場で多く発生**しています。事故の約3割は洗剤・洗浄剤が原因で、特に清掃や補充といった日常的な作業（非定常作業）で起こりやすい傾向があります。

「洗剤を混ぜて塩素ガスが発生した」「手袋の隙間から薬品が入り火傷した」「換気不足で気分不良を起こした」など、慣れや確認不足が重大事故につながる例も少なくありません。身近な作業ほど、正しい知識を持ち、適切な対策を講じることが、安全な職場づくりの第一歩です。

業種別化学物質労災発生件数



### 化学工場よりも身近な現場で事故が発生！

出典：厚生労働省「化学物質の性状に関する強い労働災害の分析結果（令和元年～3年）」より作成

#### GHSラベル 知っていますか？

GHSラベルは、化学物質の危険性を世界共通のルールで示し、赤いひし形のシンボルで一目でリスクを伝える仕組みです。引火性・毒性・健康影響などが直感的に分かる、職場の事故防止に欠かせない安全の共通言語です。

	衝撃・熱で爆発する危険があります。 火気厳禁。		非常に燃えやすい物質です。 火気・静電気に注意。		他の物を激しく燃やします。 他の化学品と離して保管。		加熱で容器が破裂する恐れがあります。直射日光を避けて保管。
	皮膚・目に触れる ると重い傷害を 起こします。 保護具必須。		少量でも命に關わる毒性があります。 吸入・接觸に注意。		皮膚・目への刺 激やアレルギー 反応を起こす恐 れがあります。		長期的な健康障 害の恐れがあ ります。蒸気・粉 じんを吸わない 対策を。
	水生生物に有害です。 下水や環境に流さないよ う適切に廃棄。	<b>「よく分からぬから安全」は禁物！</b> 赤いひし形のマークを見つけたら、「危険」「警告」などの表示を確認し、リスクを把握しましょう。マークがない製品も安全とは限りません。ラベルを確認する習慣を身につけ、誤った判断による事故を防ぎましょう。					

#### GHSを見つけたら、 次はSDSへ！

SDS（安全データシート）は、GHSラベルに書ききれない“具体的な身の守り方”をまとめた詳しい取り扱い説明書です。



#### 何をつける？（保護具）

指定された材質の手袋、ゴーグル、マスクを確認しましょう。



#### どう扱う？（手順）

換気の必要性や希釈倍率、混ぜ合わせ厳禁などのルールを確認しましょう。



#### もしもの時は？（応急措置）

目に入った、肌に付いた時の正しい洗い方を確認しておきましょう。



#### 迷ったら相談！

職場の  
「SDS置き場」  
を今すぐ確認。  
分からぬことは  
責任者に  
相談しましょう。